

都市におけるまちづくり団体の公共性

佐賀大学理工学部 学生会員 最所 崇

佐賀大学理工学部 正会員 外尾 一則

佐賀大学大学院工学系研究科 学生会員 猪八重 拓郎 伊東 博史

1. 背景、目的

近年、住民参加でのまちづくりを行なう地域が増えている。しかしまちづくりや都市計画に対する意識、経験、知識などの諸問題から、住民参加に対し戸惑いがあるように思われる。そこでまちづくりに参加しやすい手段の一つとして住民によるまちづくり団体が挙げられる。本研究では研究対象地域のまちづくり協議会及びその活動を、都市における公共性という視点から見ていく。そしてまちづくりにおいてまちづくり協議会はどのような公共性を持つのか明らかにすることを目的とする。

2. 概要

本研究は対象地域を福岡市とし、まちづくり団体の中でも行政との関係があるまちづくり協議会で研究を進める。対象団体は箱崎まちづくり協議会と奈良屋まちづくり協議会の2団体とする。また本研究でいう公共性は既に唱えられている7つの特徴(集合性・共約性・変動性・時限性・不確実性・相対性・多元性) ①と、まちづくり協議会を考える上で必要と思われる5つの特徴(公約性・関係性・独立性・伝導性・確認性)を加えたものである。

3. まちづくり協議会における公共性の特徴

① 箱崎まちづくり協議会

(a)協議会の構成

メンバーとしての偏りがあるが、若年層の意見を求めるためにスポット的ではあるが学生が活動に参加する事で補足する動きが見られた。この事から年齢的にも職業的にも集合性が見られた。ただし全体的な活動を見た場合には共約性や公約性は見られにくいと思われる。

(b)活動内容

年度により地域を知り課題を見つける活動や協議会の方向性を決める活動から、地域や住民に根付いた活動に変化している事から共約性や変動性が見られる。実際に活動する単位である部会や分科会は年度ごとの活動に合わせて変化する柔軟性から変動性

が見られる。

(c)決議方法

多数決による決議はしておらず、話し合いを行なう事で全員の総意を得て決定している。行政への要請・請願を取り下げた事があり、それは議論が不十分であり、また協議会の総意ではなかったという経緯がある。その後はそのような形の活動を行っていない事から、共約性や公約性、確認性が見られた。

(d)今後の活動

最終的な目標とは別に、数年先を見越した目標を区切りとして立てていることから時限性が見られる。この事から時間軸中心の活動を行っている。また最終的な目標は変わらないが、目標や予定は今後変わる可能性がある事から変動性や不確実性が見られる。また行政からの影響はない事から独立性が見られた。

(e)ネットワーク

他の団体と複数回の交流があり、また他地域へ複数回の視察を行っており相対性や多元性が見られる。協議会や活動の方向性が形成されながらも、地域や住民の意向と活動について見直している傾向があることから共約性が見られる。

(f)活動支援

市からはコンサルタントの派遣、区からは活動資金の援助を受けている事から行政との関係性が見られる。ただそれが活動やまちづくり協議会の目標に関して直接的な影響があまりない事から、独立性があると考えられる。

② 奈良屋校区まちづくり協議会

(a)協議会の構成

固定のメンバーとは別に活動によって協議会以外の人が多数参加しており、集合性や公約性、多元性、変動性が見られる。ただメンバーについては若年層が少ない事から、共約性は見られにくいと思われる。

(b)活動内容

地域の諸問題を解決するための活動が中心であったが、より良いまちの生活をするための活動を中心

とした活動へと変化している事や、専門的になった部会の活動を止めたことから変動性が見られる。また一つの活動を比較的長期にわたって活動している事も複数あることから、仮定はしていなかった継続性も見られた。つまり活動軸中心の活動を行っている。また行政との協働は難しいという考えから独立性が見られた。

(c) 決議方法

多数決による決議はしておらず、話し合いで決議しており、少数意見であっても話し合いまとまったら活動をしていく事から、公約性が見られた。

(d) 今後の活動

かつて考えていたハード事業ではなく、自分達がやれるソフト事業が重要であるという考えである。また生活環境について活動するという事は変わらず、具体的な方法が変わるだけであろうという考えから、変動性や不確実性、確認性が見られた。

(e) ネットワーク

活動の多くを他のまちづくり団体と共に行ったり、住民や企業と共にまちづくり活動を行っていることから、多元性や相対性が見られる。またまちづくりの窓口となり住民の要望に答える形での活動も見られることから共約性が見られた。

(f) 活動支援

市からコンサルタントの派遣や資金援助があり、行政との関係性が見られる。しかし活動に対してそのコンサルタントの影響はあまりなかった事から独立性が見られる。

4. まちづくり協議会における公共性の意識

① 箱崎まちづくり協議会

(a) 活動のきっかけと目的

各年度の活動の目的・目標の内容が年を重ねるごとに具体的になっている。また周りの環境や状況の変化に基づき、内容や方向性も変化している。これらの事から変動性や不確実性が見られる。また住民の意向に沿った活動が行われていないのではという事から目的を設定した事があり、確認性が見られた。

(b) 広報

住民への広報誌は、住民に理解しやすくするという意識から、書式や内容の簡易化により読み易くなっている。この事から変動性や伝導性が見られる。またその事から協議会やまちづくりに関心を持つ可

能性があり、多元性や相対性、公約性につながる可能性がある。活動の感想から今後の展望について書かれている事から、活動ごとの確認性が見られる。

② 奈良屋校区まちづくり協議会

(a) 活動のきっかけと目的

地域の諸問題を解決するという目的から、地域の住民と共にまちをつかっていく事を目的とした活動に変わっていることから変動性が見られる。また生活環境をよくするという大きな目標があることから不確実性が見られた。

(b) 広報

住民にとって分かりやすく伝えたいという意識があり、難しい言葉は使わなかったりイラストや写真を多用したりという事から伝導性が見られた。活動の感想から今後の展望について書かれている事から、活動ごとの確認性が見られる。

表-1 まちづくり協議会の公共性

		箱崎	奈良屋
現代公共性の特徴	集合性	△	△
	共約性	○	○
	変動性	◎	◎
	時限性	○	△
	不確実性	◎	◎
	相対性	○	◎
付加した特徴	多元性	○	◎
	公約性	○	○
	関係性	○	○
	独立性	◎	○
	伝導性	○	○
	確認性	○	○

公共性の程度： * < △ < ○ < ◎

5. まとめ

団体に不足していた集合性を種々の方法で補足することで相対性や多元性の形成も担う働きが見られた。しかしそれは団体の決議には影響ないことから、団体が成長するためには集合性や共約性を確保しなければならない。活動軸中心の団体は継続性、時間軸を中心とした団体は時限性が見られ、多元性や相互性に影響があるものと思われる。以上の事から公共性という視点から捉えることができた。また公共性に対する意識があると考えられる活動がみられた。そして各団体は公共性の特徴を持っていたが、各特徴における程度が異なっていた(表-1)。これらのことからまちづくり団体は活動方針の違いから性格の異なる公共性を持っていると思われる。

参考文献 1) 「都市計画の構造転換—地域社会からの発意と都市計画の公共性」 小泉秀樹 新都市 2002年1月号